

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第78回）に係る面談
2. 日時：令和2年2月3日（月） 13時30分～15時15分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、松井安全審査官、山中審査係、
田上審査係、佐藤係長

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当者 12名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第78回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 建屋滞留水等処理の進捗状況
- 3号機サプレッションチェンバへの地震による影響
- 1/2号機排気筒解体工事の進捗状況
- 1号機使用済燃料プールからの燃料等の取り出し等
- 3号機燃料取り出し作業の進捗状況
- 東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（以下「リスクマップ」という。）に示した事項への対応状況

○原子力規制庁から、以下についてコメントした。

【建屋滞留水等処理の進捗状況について】

- 令和2年1月29日に発生した、2号機タービン建屋北東エリアの建屋滞留水と周辺サブドレンの水位逆転による運転上の制限からの逸脱事象について、今後の対応を次回検討会にて説明すること。
- 4号機について、床面露出後のタービン建屋等の線量、原子炉建屋のサプレッションチェンバ内包水の状況及び各建屋におけるダストに関する情報を示すこと。

【3号機サプレッションチェンバへの地震による影響について】

- 3号機サプレッションチェンバ内包水の地震動等による漏えいについて、今後建屋滞留水処理に伴いサブドレン水位を低下させた状況での水位逆転の可能性などに対する評価及び対策を説明すること。

【1/2号機排気筒解体工事の進捗状況】

- これまでの作業において発生したトラブルへの対応によって得られた知見が、現在の作業にフィードバックされているものについて、その効果も含め、明示

的に説明すること。

- 吊り下ろした排気筒解体片の保管及び解体作業におけるベータ汚染に対する防護措置について、説明すること。
- 排気筒解体片内面の詳細分析において、アルファ核種について検出限界以上の値が測定されたことに関しては、自然界由来の放射性物質（ラドンなど）である可能性も考慮し、追加的な分析を実施することも検討すること。

【1号機使用済燃料プールからの燃料等の取り出し等について】

- 1号機オペレーティングフロアに大型カバーを設置するに当たって、事前に済ませておくべき作業について整理し、説明すること。

【その他】

- 次回検討会において、原子力規制庁からは、リスクマップの改定及び東京電力福島第一原子力発電所における規制の見直しに関する説明をする予定。
- 次回検討会では、福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編に係る検討状況等についても説明すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。また、福島第一廃炉推進カンパニーの組織改編については、次回検討会に先立ち、別途、検討状況を面談にて説明する旨、連絡があった。

6. 資料

- 建屋滞留水処理の進捗状況について
- 3号機サプレッションチェンバの地震による損傷を仮定した際の対応について（案）
- 福島第一原子力発電所 1 / 2号機排気筒解体工事進捗状況
- 福島第一原子力発電所1号機 燃料取り出し工法及びガレキ落下防止・緩和対策（案）
- 3号機 燃料取り出しの状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）
- 東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（一部東京電力により追記）
- 過去のコメントへの対応状況（特定原子力施設監視・評価検討会（第77回）参考4・一部東京電力により追記）